

資 料 提 供	
令和8年4月24日	
担 当 課 (担当者)	倉吉保健所 医薬・感染症対策課 (岡垣・宮崎)
電 話	0858-23-3145

### 倉吉保健所管内における腸管出血性大腸菌感染症の発生

4月23日(木)、倉吉市内の医療機関から腸管出血性大腸菌感染症の発生届出がありました。  
なお、令和8年の本症の県内発生は13例目です。

#### 1 患者の状況

	項 目	内 容	
13	患 者	20歳代(男性)	
		住 所 地	倉吉市
	菌の種類	腸管出血性大腸菌 (ベロ毒素産生)	
	経 過	4月14日 腹痛・下痢・血便出現。 4月15日 医療機関A受診。 4月18日 医療機関B受診、便検体採取。 4月23日 検査結果判明。腸管出血性大腸菌 O157 (ベロ毒素産生) 発生届受理。	

#### 2 今後の対応

倉吉保健所において、感染源や他の有症状者の有無等について調査を行うとともに、二次感染予防の徹底を図っていく。

※ 患者のプライバシーの確保に十分な配慮をお願いします。

#### 3 感染予防の方法

報道機関各位におかれましては、以下の啓発についてよろしくをお願いします。

- 各家庭及び食品調理施設においては、次の事項に注意して下さい。
- (1)手洗いの励行：感染を防ぐためには、手洗いが最も大切です。トイレの後や調理前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
  - (2)食肉の十分な加熱：家庭において、食肉やレバー等の内臓は中心部まで、75℃1分間以上、十分に加熱して食べましょう。特にハンバーグ等の生ひき肉を使った製品は中心部までの加熱が必要です。
  - (3)調理器具の使い分け：焼肉をするときは、生肉用の箸と取り箸を使い分けましょう。
  - (4)調理後の注意：調理した食品はすぐ食べるようにし、室温で長時間放置しないようにしましょう。
- 腸管出血性大腸菌に感染した場合、重症化させないことが大切です。腹痛、下痢、血便等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

<参考事項>

1 腸管出血性大腸菌感染症の令和8年における発生状況

(令和7年12月29日から令和8年4月19日)

○全 国：571名

2 鳥取県の状況 (令和8年4月23日現在)

(単位：人)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			22 (2)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)	24 (7)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	26 (9)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						10 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	14 (3)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	19 (6)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1	21 (6)
令和7年							1 (1)	2	24 (2)				27 (3)
令和8年	6 (4)	2 (1)	1	4 (2)									13 (7)

\* ( ) 内数は健康保菌者、再掲。

令和8年の発生状況 (令和8年4月23日現在)

一連 番号	管轄事務所	性 別	症状の有無	菌 型	検出月日	発表日
1	米子保健所	男	健康保菌者	O148	1月17日	1月19日
2	米子保健所	女	健康保菌者	不明	1月14日	1月22日
3	米子保健所	男	健康保菌者	不明	1月22日	1月23日
4	米子保健所	男	有症状者	O103	1月26日	1月26日
5	米子保健所	女	有症状者	O157	1月28日	1月29日
6	米子保健所	男	健康保菌者	O103	1月29日	1月30日
7	米子保健所	男	有症状者	O157	2月2日	2月3日
8	米子保健所	男	健康保菌者	O157	2月3日	2月5日
9	米子保健所	男	有症状者	O157	3月28日	3月28日
10	鳥取市保健所	男	健康保菌者	O1	4月1日	4月1日
11	米子保健所	女	健康保菌者	O157	4月2日	4月3日
12	倉吉保健所	女	有症状者	O103	4月13日	4月13日
13	倉吉保健所	男	有症状者	O157	4月23日	4月24日

